

東北・関東・関西を拠点に 大学生が展開する環境活動

■どんな人が活動しているのですか？
環境問題を解決したいと考える大学生や若手社会人が活動をしています。コアメンバーは約50名で、東北・関東・関西の3つの事業部、特定の環境問題にテーマを絞って活動をする2つのプロジェクト、そしてこれらの事業部とプロジェクトを支える事務局から構成されています。また、年間30イベントを全国で実施し、延べ1000人以上の学生と若手社会人のネットワークを構築しています。

■主な活動内容とは？

全国の若者たちのネットワークづくりを目的に始まった団体です。先輩方に聞くと、昔は環境活動を行っていると周囲から奇異な目で見られ、孤立しがちだったとか。その中で、環境問題に取り組む活動をより活発にするため、大学や地域の枠を超えた孤軍奮闘する仲間たちのネットワークが必要だったのです。このネットワークで、全国自転車キャラバンや、国を超えたインターナショナルギャザリング等の活動を生み出してきました。現在では、CCCや紛争鉱物の問題を扱うR*R等の特定テーマを扱う活動も行っています。

大学・キャンパスのエコ度を 計るエコ大学ランキング

■特定テーマを扱うCCCとは、どのような活動ですか？

CCC (Campus Climate Challenge) は、これは1990年代にアメリカの学生が始めた気候変動に関する活動ですが、私たちはこれを「エコ大学ランキング」として、大学の地球温暖化対策や環境教育支援等を調査し、その結果を公開しています。

全国に約750の大学があります。そこにアンケートを送り、回答をもとに環境対策の取組み状況を評価、順位付けを行います。4年間やってきましたが、毎回回答してくれる大学もあり、あれば、まったく無回答の大学もあります。調査は延べ300大学にとどまっています。ただ、今後も続けていく予定なので、回答数も増えていくと思います。

■発表後、反響はいかがですか？

今回は都市部の大学が上位にランキングされたせいか、ほとんどの全国紙で紹介されました。また、高校生新聞や教育芸術新聞（日本私立大学協会発行）等でも取り上げられ、反響は確実に大きくなっています。

■最終的な目標は？

大学の担当者間での認知度は着実に

18回目を迎えた

「環境」就職・進路相談会

■これは、どのような相談会ですか？
毎年、200名以上の学生を集め「環境」に関わる仕事をテーマに行っています。社会人を約30名お招きし、学生が社会人と直接話のできる場を設けています。企業説明会やその他キャリアフォーラムと異なる点は、「環境」という切り口で仕事を紹介していること、また、個別相談会なので少人数で

●第4回エコ大学ランキング

- 1位 日本工業大学
(宮代キャンパス)
- 2位 フェリス女学院大学
(緑園キャンパス)
- 3位 東京大学
- 4位 千葉大学
- 5位 成蹊大学
- 6位 三重大学
- 7位 岩手大学
- 8位 郡山女子大学
同短期大学
- 9位 九州工業大学
- 10位 武蔵野大学
(武蔵野キャンパス)



第4回エコ大学ランキング表彰式。
左よりフェリス女学院大学、日本工業大学、東京大学の皆さん

【対象】 781大学・キャンパス 【ランキング参加数】 147大学・キャンパス
【調査期間】 2012年7、8月
【評価項目】 CO2排出量、エネルギー効率、学生との協働など4セクション122項目



エコプロダクツ2012に出展した
エコリーグのブース



エコプロダクツ2012会場内で開催された
「環境」就職・進路相談会

P a r t n e r ' s T a l k

DATA BOX

- 名 称：特定非営利活動法人エコ・リーグ
- 住 所：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館507
- U R L：http://el.eco-2000.net/
- 目 的：環境活動を行う若者のネットワークを構築し、環境問題の解決を目指すための「人材育成事業」と「社会への発信事業」を行う。

●活動実績

- 1994年 エコ・リーグ設立
- 1995年 「環境」就職・進路相談会スタート
- 1999年 日韓環境ギャザリング開始
- 2002年 「環境」就職・進路相談会をエコプロダクツにて開催
- 2003年 全国大学生環境活動コンテスト (ECOCON) スタート
- 2009年 「エコ大学ランキング」スタート、専従有給職員雇用開始
- 2010年 CBD COP10で「がけっぶちの生物多様性キャンペーン」を実施
- 2011年 環境・経済・社会の切り口から持続可能な社会を考えるイベント「Beyond」を開催
- 2012年 NPO法人格を取得

●主な活動内容

- ・ネットワークの活性化:ギャザリング、エコ情報交流会、エコ・リーグカフェ
- ・社会への発信:全国学生環境活動コンテスト (共催事業) 等
- ・人材育成:「環境」就職・進路相談会、EcoWorkナビ、スキルアップセミナー



毎年開催されているギャザリング。
写真は関東事業部の地域ギャザリング



エコ・リーグが共催する全国学生環境活動
コンテスト

特定非営利活動法人エコ・リーグ

未来をつくるために つながる若者たち

地球サミットの翌々年、1994年に設立された大学生を中心に活動する環境団体「エコ・リーグ」。先輩から環境に対する想いを受け継ぎ、異なる世代とも交流しながら、エコ大学ランキングや「環境」就職・進路相談会等、若者ならではのスタイルでエコを発信しています。



お話を伺った皆さん。右から、三澤あいさん(事務局長)、上地成就さん(Campus Climate Challenge実行委員会委員長/東工大大学院)、小竹 舞さん(Campus Climate Challenge実行委員会スタッフ/慶応大学)、北 祐樹さん(全国大学生環境活動コンテスト学生スタッフ副代表/東京大学)

*Resource & 3R Revolution:レアメタルをはじめとする資源活用に関する社会的問題に取り組む青年主導のプロジェクト。2010年にスタート。

助成団体 レポート

問題意識を持つ私たち学生に 期待してほしい

■地球環境基金の助成金について

話ができるため、良い話にとどまらず現場の生の声を直接聞けることの2点です。また、毎年カウンセラーとして参加されるのは、企業や官公庁、NPO等の幅広い分野で活躍されている方で、実はエコ・リーグOB・OGや、そのつながりのある方々です。このネットワークこそ、エコ・リーグの強みでもあります。

どう思われますか？
とても助かっています。学生が中心の団体は、企業からは支援しにくい面があるのでしょう。もし基金の助成金があったら、ここまではやれなかったかもしれません。

■最後に今後の抱負を。

学生を中心とした団体ですが、世代を超えて様々な人たちとつながりながら、地道に環境問題に取り組んでいきたいと考えています。期待してください。